

授業づくりのポイント

- 【防災体験】
児童の興味・関心を引き出し、主体的に行動できるようにするために、災害場面を体験する活動を通して実感を伴わせ、防災に対する意識を高める。
- 【映像教材の活用】
DVD「まもるいのち ひろめるぼうさい」（日本赤十字社）を見て、災害の場面でどのように行動したらいいのかを学ぶ。
- 【地域や関係諸機関との連携】
災害に対応するために地域や関係機関が協力し、一体となって取り組む大切さに気付く。

単元について

1 単元名 「地震から身を守ろう」

2 目標

Ⅲ－2 地震災害時の安全

地震発生時の危険と適切な対処について理解し、安全な行動ができるようにする。

3 教材化の視点

毎月の避難訓練には真剣に取り組み、落ち着いて行動している。教室で地震が起きた時にも、自分で机の下に潜ったり、防災頭巾を被ったり、自分の身は自分で守ろうとする防災への意識が高まりつつある。

今回の学習では、自分の生活の中で緊急地震速報が鳴った場合を想定し、DVDを見たり、これまでの防災教育で学んだことを思い出したりする中で、様々な場面、状況下でどのような行動をとれば、自分の身の安全が確保できるかを考える。実際に緊急地震速報を鳴らして行動させ、いつ、どこで起こるか分からない地震災害に対して「地震はいつ起こるか分からない」といった不安感情だけで終わらせず、「地震が起ったらどうやって身を守ろうか」「地震が起ったら、自分にはどんなことができるだろうか」ということにも目を向けさせたい。また、地震が起きた直後に自分の身を守ってから次にとるべき行動ということについて地域の防災訓練での体験と今回の学習をつなげる。

指導計画（3時間扱い）

時間	○主な学習活動	◎安全教育の視点に立った留意点
1	○地震が起きた時の危険を知り、身の守り方を理解する。	◎「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」の三つのポイントを確認する。
行事	○授業中に発生した地震・火災に対して敏速に避難行動をとる。 ○地域の方や関係諸機関職員と一緒に、避難所設営訓練や防災訓練をする。	◎大規模な防災訓練を体験することで、災害を意識させる。

2 (本時)	○緊急地震速報とは何かを知り、緊急地震速報が鳴った時の行動を考える。	◎緊急地震速報がただ「怖い音」ではなく、自分の身を守ってくれる「必要な音」であることを確認する。
3	○教室ではない場所で緊急地震速報が鳴った時の行動について考える。	◎三つのポイントを思い出しながら行動するように伝える。

指導事例（第2時／3時間）

1 ねらい

- ・地震発生の危険についてその場で判断し、自分の身は自分で守る方法を身に付ける。
- 【Ⅲ－2－②】

2 ポイント

- ・地震の発生時の安全について自ら考え判断し、行動できるようにする。

3 指導の実際

	○主な学習活動	◎支援・留意点 ■評価（評価方法）
導 入	○防災訓練で、どのような体験をしてきたかを発表させる。 ○地震が起きる前に「緊急地震速報」が流れることを知る。 ○本時のめあてを確認する。	◎ホワイトボードに防災訓練の写真を掲示し、どのような体験をしたかを発表させる。 ◎どのような災害が発生すると、防災訓練のような状況になるのかを考えさせる。 ◎地震が起きることを知らせる「音」を何とか発表させる。 ◎実際に緊急地震速報を流す。
緊急地震速報を聞いたら、どうすればいいのだろうか。		
展 開	○緊急地震速報がどのようなときに鳴るのかを知る。 ○実際に教室で緊急地震速報を聞いて、行動する（学校で聞く音を流す）。	◎DVD「緊急地震速報で身を守ろう」を見る。 ◎緊急地震速報が「怖い音」ではなく、自分の身を守るために「必要な音」であることを伝える。 ◎前時で学習した「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」の三つのポイントを確認し、教室の中での危ない場所を確認する。 ■実際の音を聞いて自分で判断して行動することができる（観察）。

	<p>○緊急地震速報を聞いて自分がとった行動について振り返る。</p> <p>○様々な音の緊急地震速報を聞く。</p>	<p>◎学校で聞く音、携帯電話から聞こえる音などを用意しておく。</p> 
<p>まとめ</p>	<p>○緊急地震速報が鳴ったらどのように行動したらよいかを振り返り、発表する。</p>	<p>◎緊急地震速報を聞いた後の行動を発表させ、本時での行動を振り返らせる。</p> 

児童の感想から

- ・最初はサイレンを聞くと怖かったけど、緊急地震速報は怖くなくなりました。
- ・緊急地震速報が鳴ったら、ものが落ちてこない机の下に隠れなければいけないことが分かりました。
- ・地震の時、教室にはたくさんの危ないものがあるということが分かりました。

児童の変容

- ・落ちてきそうなものや倒れてきそうなものを意識して、教室の外でも見付けることができるようになった。
- ・緊急地震速報の意味を理解して、サイレンが鳴ってもむやみに怖がることが少なくなった。